

NEWS RELEASE

2024年7月19日
リファインバース株式会社
代表者：代表取締役社長 越智 晶
(証券コード：7375)

<イベントレポート>

下田海中水族館で初の「廃漁網の回収とリサイクルプロジェクト」を実施しました 67人の来場者が参加し、推計44キロの漁網を回収！

リファインバース株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：越智晶）は、下田海中水族館で初となる「廃漁網の回収とリサイクルプロジェクト」を7月6日(土)に開催しました。本プロジェクトでは、67人の来場者の皆様にご参加いただき、参加企業の作業分も含めて推計44キロの廃漁網を回収することができました。回収された廃漁網は、当社の自社工場にて高品質リサイクルナイロンペレット「REAMIDE」（リアミド）に生まれ変わります。



参加企業：下田海中水族館、三井物産ケル加株式会社、株式会社 PADI アジア・パシフィック・ジャパン、リファインバース株式会社

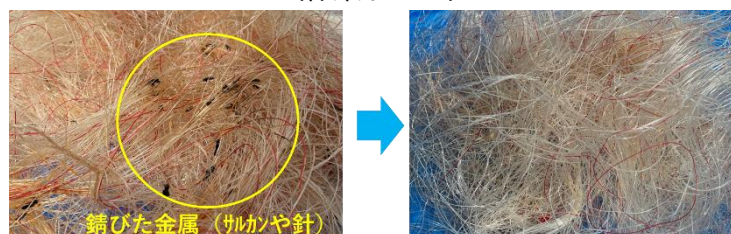
■ イベントレポート

海洋プラスチックゴミの問題は世界的にも問題視されており、廃漁網の海洋投棄は課題のひとつです。当社では5年前に廃漁網のリサイクルを事業化し、REAMIDEとして高品質リサイクルナイロンペレットに再生しています。漁網をリサイクルするためには、針などの金属をハサミで一つひとつ取り除く作業が必要となります。今回は、下田市でこれまでキンメダイ漁に使用されていたテグスをリサイクルするため、下田海中水族館で初めてとなる「廃漁網の回収とリサイクルプロジェクト」を7月6日(土)に開催しました。

当日は天候にも恵まれ、10時の開始から来場者の皆様が続々とプロジェクトにご参加いただきました。1組ごとに約1キロを目標に作業をおこない、合計67人にご協力いただくことができました。来場者の皆様からは、「この網で漁をしているんですか？」というキンメダイ漁に関する質問や、黙々と作業をしていただける方も多く「もう少したくさんできそう！1キロ以上を目指します！」といった声も多くありました。普

段触れる機会の少ない漁網の作業でしたが、想定よりもたくさんの量を作業いただき、参加企業の作業も後押ししたことで、4時間でおよそ44キロの量を処理することができました。ご参加いただいた来場者の皆様には、処理できた漁網の分量により、入場割引券やカワウソの給餌体験用エサが下田海中水族館からプレゼントされました。

〈作業イメージ〉



〈イベントの実施風景〉



■ REAMIDE について

REAMIDE は使用済み漁網を主な原料とした高品質リサイクルナイロンペレットです。回収した漁網は、洗浄及びフィルタリングをすることで徹底的に異物を除去します。建材や家電、アパレル製品、オフィス家具など、さまざまな用途で使われています。

ご紹介パンフレットはこちら：<https://r-inverse.com/features/reamide/>

■ 開催概要

【日 時】 2024年7月6日（土）10：00～14：00

【場 所】 下田海中水族館 第一駐車場 特設会場

【協 力】 三井物産ケミカル株式会社、株式会社 PADI アジア・パシフィック・ジャパン

■ リファインバースグループについて

「誰にもない視点と技術で、未来の富をつないでいく」

20年以上前からサーキュラーエコノミーを実践し、様々な素材の再生・開発に取り組んでいます。オフィスや施設で大量に廃棄されるタイルカーペットを、水平循環型リサイクルを実現した再生素材「リファインパウダー」にするため自社工場での回収・再生をおこなう事業や、廃漁網や廃車エアバッグから高品質リサイクルナイロンペレット「REAMIDE」（リアミド）に再生する事業を展開。2023年からは、鳥の羽根「フェザー」を原料にした新しいバイオ素材「ReFEZER」（リフェザー）を開発し新事業を開始するなど、ビジネスの力で循環型社会を実現するため事業の拡大と研究を行っています。